

NO. 15
2023.12

岩手大学

同窓会連合会報

2023

IWATE UNIVERSITY
FEDERATION OF
ALUMNI ASSOCIATION





岩手大学同窓会連合 会長挨拶

会長 武田 純一

岩手大学の卒業生・修了生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。このたび、遠藤隆前会長の後任として会長を仰せつかりました。同窓会連合の益々の発展のため努力して参る所存ですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症も本年5月で第5類に移行し、行動制限が緩和されたことにより、少しずつ従前の大学生生活が戻ってきたように感じております。このような中、9月2日盛岡市にて、第15回「卒業生・修了生と学長との懇談会」を昨年同様対面で開催しました。2名の同窓生によるご講演は、現在の活躍ぶりや母校に寄せる思いの

こもった内容であり、また本学学生による学内カンパニーの発表2件は、先進的で私どもの目を見開かせるものでした。小川学長による大学の現状報告を拝聴後の昼食会により、学部・学科の垣根を超えた交流が和やかに行われ、大変思い出深い懇談会となりました。参加された皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

依然として国内外の情勢は厳しく、かつ激動の時代ではありますが、同窓会員各位の益々のご活躍を祈念申し上げますとともに、岩手大学同窓会連合の諸活動への、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

岩手大学同窓会連合活動報告

卒業生・修了生と学長との懇談会(第15回)を開催しました

令和5年9月2日(土)、メトロポリタンホテル盛岡にて、岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会(第15回)を開催しました。本懇談会は、本学卒業生・修了生に対して、大学の取組状況等をお知らせするとともに意見交換を行うことを目的として、毎年開催しています。

当日は、小川智学長と武田純一会長からの挨拶に続き、小川学長が本学の取組について説明しました。その後、卒業生の稲垣秀悦氏(昭和56年人文社会科学部卒業)と岩間浩氏(平成2年農学部卒業)のお二人にご講演いただきました。

岩手県内を中心に起業・創業支援に継続的に取組むことを目的として設立された、いわぎん事業創造キャピタル株式会社の代表取締役社長を務める稲垣氏には、「いわぎん事業創造キャピタルの取組み～投資活動を通じて考えるべきこと～」と題して、同社の活動やベンチャーキャピタルとはどのような会社なのかについてお話いただきました。

現在、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局審議官兼内閣府地方創生推進事務局審議官を務める岩間氏は「岩手大学での経験を社会に活かす」と題して、国が進める「みどりの食料システム戦略」や「デジタル田園都市国家構想総合戦略」について説明し、本学がこうした取組にどのように関係するかなどについてお話いただきました。

続いて、本学の特徴的な正課外の活動である学内カンパニーの「+DESIGN」と「彩景プロダクション」が、それぞれの活動について発表を行いました。

当日は、68人の参加があり、懇談会からその後のランチ懇親会まで盛会のうちに終了することができました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



稲垣秀悦氏



岩間浩氏



ランチ懇親会の様子

令和4年度 岩手大学同窓会連合 決算

【収入の部】(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額
会費収入	1,200,000	1,200,000	0
前年度の繰越金	1,058,512	1,058,512	0
その他収入	13	15	△2
計	2,258,525	2,258,527	△2

[収入 - 支出 = 繰越額] 2,258,527 - 814,790 = 1,443,737

【支出の部】(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額
事業費	685,000	766,150	△81,150
会長活動経費	5,000	0	5,000
会議費	0	0	0
事務費	5,000	2,200	2,800
予備費	1,563,525	46,440	1,517,085
計	2,258,525	814,790	1,443,735

役員名簿

役員	会長	武田 純一	北水会会長
	副会長	遠藤 隆	七友会会長
		藁谷 収	北桐会会長
		柏葉安兵衛	一祐会会長
監事	赤坂 勝	一祐会	
	沼崎 光宏	北水会	
理事会理事	会長	武田 純一	(北水会会長)
	副会長	遠藤 隆	(七友会会長)
		藁谷 収	(北桐会会長)
		柏葉安兵衛	(一祐会会長)
	七友会理事	鈴木 護	
	北桐会理事	佐藤 寿仁	
	一祐会理事	長田 洋	
	北水会理事	澤井 健	
	岩手大学	小川 智	学長
		藤代 博之	理事・副学長
横山 英信		人文社会科学部部長	
境野 直樹		教育学部部長	
八代 仁		理工学部部長	
伊藤 菊一	農学部部長		

令和4年度事業報告

- ◎理事会の開催
第24回(令和4年5月24日)
議題:令和3年度事業報告(案)、決算(案)、令和4年度事業計画(案)、予算(案)、卒業生・修了生と学長との懇談会(第14回)、岩手大学同窓会連合会則の改正、各学部同窓会活動報告、岩手大学の財務状況について
- ◎運営委員会の開催(計3回開催)
第43回(令和4年4月22日~4月28日メール会議)、第44回(令和4年8月17日~8月19日メール会議)、第45回(令和4年10月4日)
- ◎「第14回 卒業生・修了生と学長との懇談会」の開催(令和4年9月3日)
- ◎会報第14号の発行 ◎岩手大学紹介番組「ガンダイニング」への協賛
- ◎卒業式・修了式への支援(祝い花の贈呈)

令和5年度事業計画と実施状況

- ◎理事会の開催
第25回 令和5年5月30日
- ◎運営委員会の開催
第46回 令和5年5月15日~5月22日
第47回 令和5年10月2日
- ◎第15回卒業生・修了生と学長との懇談会の開催(令和5年9月2日)
- ◎会報第15号の発行 ◎岩手大学紹介番組「ガンダイニング」への協賛
- ◎岩手大学イーハトーヴ基金への協力呼びかけ
- ◎卒業式・修了式への支援(祝い花の贈呈)
- ◎同窓会連合HPのリニューアル

各同窓会報告

七友会 SHICHIYUKAI | 人文社会科学部 同窓会 |

2023年9月に開催された学長との懇談会で、七友会の稲垣秀悦副会長が、ベンチャービジネス支援を行っているいわぎん事業創造キャピタル(株)で、2015年4月の創業以来代表取締役を務めている経験を講演しました。この会社は「岩手の地域活性化に貢献する」という経営理念のもと、岩手県内を中心に起業・創業支援に継続的に取り組むことを目的としています。県内を始め全国的にも起業精神は高まっており、とりわけ岩手大学内でも学内カンパニーが盛んに行われている実情から、聴衆の関心も非常に高かったです。



同窓会で参加者の質問に答える稲垣氏

北桐会 HOKUTOHKAI | 教育学部 同窓会 |

- 令和5年3月に会報「北桐」62号を発行しました。
- 第64回北桐会評議員会を令和5年7月6日(木)に開催しました。北は北海道から南は栃木県の会員の方々にお集まりいただき、北桐ホールにて対面式で会を執り行いました。
- 前回の創立記念事業から10年ぶり、令和6年7月6日(土)に創立70周年記念事業をメトロポリタン盛岡にて開催する予定です。10年に一度の本事業が実現できるよう実行委員会も鋭意取り組んでおります。会員の皆様とお会いし親しくお話できますことを楽しみに準備してまいります。

会報「北桐」



第64回北桐会評議員会の様子

一祐会 ICHUYUKAI | 理工学部 同窓会 |

- 令和5年3月に会誌「北杜」71号を発行しました。
- 新正会員への記念品(トートバッグ)を贈呈しました。
- 岩手大学イーハトーヴ基金 理工学部「未来へのチャレンジ基金」へ寄附しました。
- 令和5年5月20日(土)に一祐会創立80周年記念式典・講演会・祝賀会を開催しました。来賓・会員など120名が参加(詳細は北杜72号掲載)。学生時代の思い出を再確認し、懐かしい気持ちになり、新しい出会いがあり、皆さん笑顔で会場を後にしました。とても賑やかな会となりました。



80周年記念式典の様子

北水会 HOKUSUIKAI | 農学部 同窓会 |

- 北水会では、国内外64支部及び各分会等が行う総会や会報発行等の活動経費を支援(1/2以内・5万円以内)することにしました。これを契機に支部組織体制の充実や活動の活性化を期待しています。
- 盛岡高等農林学校創設時(1902(明治35)年)の建造である農学部附属植物園内の「収蔵庫」は、洋式工法を基本としつつ木造建築の良さを採用し均整の取れた建物です。老朽化が進んでいますが、去る11月には文化庁が調査に訪れており、北水会は本学の揺籃期遺産を後世に伝える道を探りたいと考えています。



現在の収蔵庫(2023(令和5)年) 一北東側から撮影

岩手銀行

THE BANK OF IWATE

石川 健正^{けんせい}氏

1984年3月、岩手大学人文社会科学部卒業。同年4月、株式会社岩手銀行入行。2023年6月より同行取締役専務執行役員を務める。趣味はゴルフ。最近の楽しみは「じいじ」と呼べるようになったばかりの孫とプラレールをして遊ぶこと。

岩手銀行本店前にて（岩手県盛岡市）

地域社会発展への貢献が仕事のやりがい

私は、2023年6月に岩手銀行取締役専務執行役員に就任しました。現在、頭取の補佐を担っているほか、審査部と市場金融部を所管しています。審査部は、お取引先に対するご融資の判断や管理などを担う部署です。一方、市場金融部は、有価証券運用業務や短期金融市場での運用・調達業務を担う部署で、銀行員生活のうち22年間に在籍し、現在も担当しています。

金融サービスやコンサルティング等により、お客様が抱える課題の解決や地域の活性化につながると、地域社会の発展に貢献できたと実感します。それが仕事のやりがいです。

学生時代の友人と再会し、岩大周辺を散策

私は真面目な岩大生ではなかったので、勉強の点で話せることはありませんが、やはり多くの友人に出会えたことは良い思い出です。中央食堂2階にあった「ポローニア」という喫茶コーナーで友人に会い、そこから講義の受講に行ったり、アルバイトや遊びに向かう毎日を過ごしていました。毎晩、誰かの

アパートに集まっては、粗末な夕食をとりながら、いろんな話をしたことが思い出されます。

昨年、当時のメンバーが20数年ぶりに盛岡に集合し、学食でお昼を食べた後に上田通り、高松界限を散策しました。夜は上田通りの「さわ」や「ポパイ」で飲みたかったのですが、いずれも閉店していたので、本町通りの「秀吉」に行きました。とても楽しい1日でした。

地域になくてもならない企業として

私は大学卒業まで岩手を離れたことがなく、やはり地元岩手に貢献できる仕事に就きたいと思い、岩手銀行に入行しました。今年で40年目です。入行当初は行内に同窓生が少なかったのですが、現在は、岩大出身者が100名以上在籍しており、とても心強いです。

岩手銀行では、2032年に迎える創立100周年に向けて、これまでの「銀行を中心とした総合金融グループ」から「銀行機能を有する総合カンパニー」への転換を進めています。地域になくてもならない企業としての役割を果たしていきたいと考えていますので、同窓生の皆様、今後ともよろしく願います。

予告

岩手大学ホームカミングデー2024

岩手大学卒業生・修了生やそのご家族、元教職員等の皆様を本学へお招きするホームカミングデーの開催を2024年秋に予定しています。本学のキャンパスで、なつかしい同窓生や恩師との交流を深めていただく機会です。詳細は同窓会連合HP等で随時更新していきます。また、基金室のお知らせメールにご登録いただいた方には、最新のご案内をお送りします。（本誌8頁「基金室からのお知らせ」参照）

卒業後も学び続けたい同窓生の皆様にご利用いただけます

01 社会人学び直しプログラム

岩手大学では、大学の強みを生かした生涯学習の場の提供に取り組んでいます。公開講座、アートフォーラム、いわてアグリフロンティアスクール、地域を支える「まちづくりリーダー」育成プログラム、いわて観光グローバル人材育成講座、女性のキャリア形成支援リカレントプログラムなど、卒業後も学び続けたい同窓生の皆様にもご利用いただける充実したプログラムがあります。詳細は、地域社会教育推進室やダイバーシティ推進室のホームページをご覧ください。



「女性のキャリア形成支援リカレントプログラム2023」受講者集合写真

地域社会
教育推進室HP



ダイバーシティ
推進室HP



02 図書館

岩手大学図書館では、地域の文化的・知的発展に貢献することを目的として、学外の方にも本学が所蔵する学術情報資源を提供しています。詳しくは図書館ホームページをご確認ください。



岩手大学図書館

岩手大学図書館
＜利用案内＞



定年退職教員の紹介

以下の先生方が令和5年3月をもって定年退職されます。長年にわたり教育・研究にご尽力いただき、ありがとうございました。

所 属	職 名	氏 名	研究分野・キーワード
人文社会科学部	教 授	浅沼 道成	スポーツ社会学
人文社会科学部	教 授	阿部 裕之	金属工学
人文社会科学部	教 授	後藤 尚人	文化記号論・文芸理論
人文社会科学部	教 授	竹原 明秀	植生科学・景観生態学
人文社会科学部	教 授	松林 城弘	言語習得論
教育学部	教 授	今野日出晴	社会科教育
教育学部	教 授	境野 直樹	英米文学（英文学）
教育学部	教 授	吉井 洋二	代数学
教育学部	准教授	梶原 昌五	動物生理学（ホヤ）、環境教育、水産増養殖学
教育学研究科（教職大学院）	教 授	立花 正男	算数・数学教育
理工学部	教 授	大石 好行	高分子合成化学、高分子機能材料化学
理工学部	教 授	尾臺 喜孝	数学（整数論）
理工学部	教 授	越谷 信	地質学、自然災害科学
農学部	教 授	関野 登	木質資源工学
農学部	教 授	築城 幹典	草地生態学
農学部	教 授	三浦 靖	食品化学工学、レオロジー、界面コロイド科学
農学部	教 授	由比 進	野菜園芸学、植物育種学

※令和5年度に定年退職される先生方のうち掲載許可をいただいた方のみ掲載しています。

01 地域協創教育センターを新設しました

岩手大学では、地域との連携により、学生の独創的な活動や地域貢献に資する取組を積極的に支援してきました。その活動をさらに充実・強化するため、令和5年9月に「地域協創教育センター」を新設しました。センターでは、卒業生である宮沢賢治の想い「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」(Well-being)を受け継ぎ、地域の多様な方々との協創活動を通じ、心の豊かさとイノベーションマインドを併せ持ち、高い専門性と実践力を兼ね備えたレジリエントな人材を育成します。具体的には、全学の学生が受講可能な共修コース「イーハトーヴ協創コース」の開設をはじめ、学生と地域との恒常的な対話の場として学内ワーキングスペースの設置、学生のキャリア形成サポート等に取り組んでいきます。



Next Step工房のワークショップの様子



会議参加者の集合写真

02 ILC 国際会議開催

岩手大学は、令和5年9月25～26日、いわて県民情報交流センター（アイーナ）にて「国際リニアコライダー（ILC）」に関する国際会議を開催しました。実行委員長を理工学部の成田晋也教授が務め、国内外の研究者や企業関係者など約50人が参加しました。現在、北上山地がILCの建設候補地となっています。会議では、計画実現に向け、世界で取り組まれている加速器の消費電力削減やエネルギー効率向上等の事例、「グリーンILC」の取組等が紹介されました。

03 新オリジナルグッズ テーブルセンターとコースター完成

南部藩時代の衣類等の図柄を現代に生かした南部古代型染で岩手大学オリジナルグッズを作りました。南部藩の家紋である「向鶴」をあしらったテーブルセンター（5,880円税込）と学章のコースター（700円税込）は生協購買中央店で販売中。本学にお立ち寄りの際にはぜひお買い求めください。



コースターは二色展開



向鶴柄のテーブルセンター



マタタビの葉に寝そべるネコ

04 ネコが大好きなマタタビ 安全性が高いことを科学的に立証

岩手大学は、名古屋大学と英国リバプール大学との共同研究で、マタタビをネコに与えても依存性や毒性が見られず安全性が高いことを初めて科学的に立証しました。農学部の宮崎雅雄教授、上野山怜子大学院生らによる研究成果です。令和5年9月28日（日本時間）、科学雑誌「iScience」(Cell Press)の電子版に本研究が公開されました。本研究成果によりネコ用マタタビスプレーが開発され、株式会社Nrf2（東京都渋谷区）が商品化しています。

05 大学と地域との交流イベント 「うえだ交流まつり 2023 in 岩手大学」開催

岩手大学と地元上田商店街協同組合とが連携し、10月14日、農学部附属植物園にて「うえだ交流まつり2023 in 岩手大学」を開催しました。この事業は、本学の緑豊かなキャンパスを開放し、地域の人々、学校（保育園・小学校・中学校・高等学校）、企業・団体と本学の構成員とが交流を図り、地域の活性化を目指すものです。当日は快晴の秋空の下、終日たくさん子ども達や家族連れで賑わいました。

ステージ発表では、さんこうじ保育園児のダンスを皮切りに、上田小学校の太鼓、上田中学校による合唱と太鼓、盛岡一高応援団の演舞、本学からはアカペラサークルVOIVOI、民俗芸能サークルばっけ、落語研究会等が出演し、充実したステージとなりました。

また、在学生によるキャンパスツアーや子ども向けゲーム、和楽器体験、読み聞かせ、古本市、NHK盛岡放送局キャラクターとの撮影会など、多様なイベントが催されました。会場には上田商店街によるフードコーナーも設けられ、「上田通り」の魅力を発信しました。

卒業生の皆様も来年度に開催した際には、お越し頂き、学生などとの交流や懐かしい上田通りの味覚を楽しんでみてはいかがでしょうか。



ステージで踊る民俗芸能サークルばっけ



フードコーナーでは、じゃじゃ麺やハンバーガー、お惣菜などが販売された



ビール用大麦収穫の様子

06 学内カンパニー 岩手大学クラフトビール部の活動紹介

岩手大学クラフトビール部は、ビール麦の県産化・国産化事業を通して、経済面を中心とした地域課題を解決することを目的として活動している学内カンパニーです。1～2年生を中心とした総勢28名で活動しています。メンバーの所属学部は多岐にわたりますが、そのなかでも農学部所属の学生はやや多めです。

直近では史上初の完全県産ビール「つなぐビール」の開発・販売したほか、陸前高田市・紫波町でのビール麦栽培、イベント等での展示会、ビールに関する調査・研究、産学官・農商工の連携構築などにも取り組みました。

今後はビール麦県産化1%を目指して活動しつつ、ビール麦における環境配慮型農法の確立とリノベーション事業の展開も予定しています。また、完全県産ビールについては、風味などを改良することでビール自体の美味しさを追求していくとともに、広報・PRに力を入れることで県産ビールの知名度を向上させていこうと考えています。（取材：学内カンパニー-i-Connect 北田工）

「学内カンパニー」について

岩手大学には、学生自らが学内で仮想的な“会社”をつくり、ものづくりを通して企業活動や働くということを実践的に学ぶことができる「学内カンパニー」というしくみがあります。現在活動している会社数は12社です。事業内容は、金属加工や遺伝子分析から木材加工やデザイン、広報にまで広がり、さまざまなカンパニーが学内で生まれています。

07 環境マネジメント学生委員会 (EMSC) の活動紹介

環境マネジメント学生委員会は、上田キャンパスを拠点に、学生の環境活動への関心向上や環境活動を通じた地域交流などを目的に活動している学長直属の委員会です。52名の学生委員が所属し、6つの部署（環境教育、企画、廃棄物、グリーンキャンパス、広報・ウェブ、省エネ・省資源、ハーバリウム）に分かれて活動を行っています。

大学図書館横へグリーンカーテンの設置、風力発電機の開発（E-windプロジェクト）、化粧品の詰め替えパックのリサイクルを促進する「岩手リサイクリエーションプロジェクト」などの企画を立ち上げ、各プロジェクトを実行しています。

また、岩手県立大学や富士大学の学生と共同で、充実した生活を維持しながらも脱炭素社会を目指す「いわてカーボンフリーアクション」という企画を立ち上げ、動画制作を通して環境に配慮した行動を心がけるような情報発信を行っています。

これからも、多くの学生に環境活動に関わってもらえるよう、楽しい要素を加えながら活動を展開していきます。（取材：学内カンパニー-i-Connect 村田 紘基）



いわてカーボンフリーアクションのキックオフミーティングの様子

基金室からのお知らせ

「基金レポート2022」発行

2022年度に岩手大学イーハトーヴ基金へいただいた寄附の実績や寄附を活用して実施した取組などをお知らせするために「岩手大学イーハトーヴ基金レポート2022」を発行しました。レポートはQRコードからご覧いただけます。また、ご希望の方には冊子を送付いたしますので、岩手大学基金室までご連絡ください。



岩手大学イーハトーヴ
基金レポート2022



オンラインチャリティーイベント 「Giving Campaign 2023」開催

2023年10月23～29日に本学の学生活動に対する応援を募るオンラインチャリティーイベント「Giving Campaign 2023」を開催しました。本イベントは、卒業生や保護者、地域の皆様に応援投票や寄附を呼びかけるもので、期間中には5328人の参加がありました。応援や寄附をくださった皆様、ありがとうございました。



Giving Campaign 2023特設サイト

メール登録をご利用ください

岩手大学基金室では、本学の取組やイベント等に関する情報発信を行っています。情報を希望する方は専用フォームよりご登録ください。

登録フォーム



岩手大学では、書面またはインターネットにてご寄附を受け付けています。詳細は岩手大学イーハトーヴ基金のホームページをご覧ください。本学へのご寄附に関するご相談やお問い合わせは岩手大学基金室までお気軽にご連絡ください。

岩手大学
イーハトーヴ基金HP



岩手大学イーハトーヴ基金
Iwate University Ihatov Fund

岩手大学基金室

〒020-8550
岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
TEL 019-621-6091
FAX 019-621-6014
MAIL kikin@iwate-u.ac.jp

岩手大学統合報告書2023 発行

ステークホルダーの皆様へ「現在進行形の岩手大学」を伝え、本学について広くご理解いただくために「岩手大学統合報告書2023」を発行しました。大学の基本情報、財務情報、ビジョン2030及び第4期中期目標・中期計画の自己評価と活動実績を掲載しています。報告書はQRコードからご覧いただけます。



岩手大学統合報告書
2023 (PDF)



岩手大学紹介テレビ番組 「ガンダイニング」

岩手大学同窓会連合も協賛している「ガンダイニング」が今年度も放送されています。岩手大学での学生生活、研究活動、地域活動や、あまり知られていない魅力などについて、現役学生が紹介しています。10月から3カ月にわたって毎週火曜夕方6:55～IBC岩手放送で放送しています。見逃した方は本学公式YouTubeチャンネルでご覧ください。



ガンダイニング2023の様子

岩手大学の最新ニュース、イベント情報、日々の出来事、ガンダイニング等の動画は以下よりご覧いただけます。



岩手大学
HP



岩手大学公式YouTube
チャンネル



岩手大学公式X
(旧Twitter)



岩手大学同窓会連合会報 No.15
2023.12 発行

発行事務局

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
TEL 019-621-6091 FAX 019-621-6014
MAIL dosokai@iwate-u.ac.jp
https://alumni.iwate-u.ac.jp/

